

「目標達成計画」

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	<p>・緊急時等の対応</p> <p>緊急時対応（誤嚥、窒息など）に関する計画的、継続的なロールプレイ訓練の実施が期待される。</p>	<p>・「緊急時対応（誤嚥、窒息、心臓マッサージ）に関する訓練」を計画的、継続的に行う事で、緊急時の対応が慌てずに行う事が出来る。</p>	<p>・職員は消防署員による「応急手当と救命処置に関する講習」を定期的に受講し、ロールプレイ訓練を実施する。</p> <p>・マニュアルを見直し、ホーム内研修を行う。</p>	6ヶ月
2	16 17	<p>・災害対策</p> <p>ホーム独自の具体的な避難誘導マニュアルの整備が期待される。</p> <p>備蓄品についてもリスト化が期待される。</p>	<p>・ホーム独自の避難誘導マニュアルが整備され、それに基づいてスムーズに訓練を行う事が出来る。</p> <p>・備蓄品をリスト化することで、災害時の非常事態に備えることが出来る。</p>	<p>・避難誘導マニュアルの見直しを行い、ホーム独自のマニュアルを作成する。</p> <p>・必要な備蓄品を厳選し、リスト化する。</p>	3ヶ月
3	18	<p>・一人ひとりの尊重とプライバシーの確保。</p> <p>プライバシーの保護の観点から居室入り口窓の配慮が期待される。</p>	<p>・居室内のプライバシーが保たれる。</p>	<p>・居室入り口の窓を目隠し等を使用し、居室内のプライバシーを保つ。</p>	3ヶ月